

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 3 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	道の駅おおあらい（仮）への再生可能エネルギー設備導入可能性調査事業	
補助事業者名	大洗町	
補助事業の概要	<p>本町では、更なる観光客の誘客や周遊観光、地元農水産物の消費拡大等による地域振興、新たな雇用創出等を目指し、道の駅おおあらい（仮）の整備検討を進めるとともに、道の駅おおあらい（仮）へ再生可能エネルギー設備を導入することにより、エネルギーの地産地消による経済循環や、町の財政負担を最小限にした持続可能な道の駅の運営、東日本大震災を踏まえた防災拠点の確立を図るほか、SDGs や脱炭素社会を考慮した道の駅を通して、町民等に対しエネルギー構造の高度化への理解促進を図るため、再生可能エネルギー設備導入可能性調査事業を実施した。</p>	
総事業費	20,922,000円	
補助金充当額	20,922,000円	
定量的目標	<p>町単独事業で組織している、「道の駅おおあらい（仮）整備検討委員会」から提案があった最有力候補地において、道の駅事業を展開した場合における、エネルギー需要量調査等を行い、導入計画書を策定する。</p> <p>なお、道の駅整備後における中長期的な目標として、観光入込客数 令和元年度：431万人⇒整備後：460万人 等も設定。</p>	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>最有力候補地における、エネルギー需要量や設置可能な設備容量、想定発電量、概算工事費、事業収支、技術的課題等について検討を行うとともに、発電電力の有効活用や防災性向上の観点から蓄電池システムの導入についても併せて検討を行い、導入計画書を策定できた。</p> <p>また、本事業によって、再生可能エネルギー設備を導入するために必要な知見を習得することができたため、今後、仮に最有力候補地が変更となっても対応が可能となった。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	導入可能性について専門的見地のある事業者に委託
	契約の方法	随意契約（公募型プロポーザル）
	契約の相手方（間接補助先）	株式会社 建設技術研究所
	契約金額（間接補助金額）	20,922,000円

来年度以降の事業見通し	令和4年度も引き続き、「道の駅おおあらい（仮）整備検討委員会」において、道の駅整備に向けた基本構想・基本計画の検討を進める予定であることから、令和5年度以降、道の駅整備に向けた基本設計・実施設計に着手するタイミングに合わせ、本補助金を活用した再生可能エネルギー設備導入に係る設計費や事業費を申請予定。
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

（備考）

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。